

(学年) 3 学年、(教科・科目) 農業・野菜

一斉学習

(単元) ブロッコリーの栽培

(本時のねらい)

ブロッコリーの生育経過を理解し、ブロッコリーの花芽分化と花らしいの発育について理解することができる。

(ICT 活用方法)

ほ場の栽培の様子を記録した画像や教科書等の模式図、web 上の画像を使用し、スライドにまとめ、電子黒板に投影する。また必要に応じて電子ペンで電子黒板に直接書き込むことで、ブロッコリーの栽培管理について興味・関心を持ち、実践的で合理的な栽培管理技術について探求する態度を養う。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T 活用方法
導入 5 分	<ul style="list-style-type: none"> ブロッコリーの分類 原産地・栽培の歴史について確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の復習と本時の目標を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいを電子黒板に投影する。
展開 3 5 分	<ul style="list-style-type: none"> ブロッコリーの生育経過について理解する。 ブロッコリーの花芽分化と花らしいの発育を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 種まきから収穫までの生育過程を日数と共に理解させる。 花芽分化と花らしいの発育条件を理解させる。 花らしいの異常について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> スライドを投影し、必要に応じて電子ペンで電子黒板に直接書き込む。 内蔵カメラを使用し、花芽を実物投影する
まとめ 1 0 分	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめを行い、次時の学習内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントで本時の内容を振り返り、次時の学習について理解させる。 	

(授業の様子)



内蔵カメラによる実物投影

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

ほ場の栽培の様子を記録し、投影することでリアルタイムの情報をもとに授業展開ができる。そのため、座学と実習の連携がうまく図れ、知識・技術の効率的な習得につながる。また、電子ペンで記入することにより、要点やポイントを明らかにすることができる。さらに、実物を投影することで、より具体的な学習へつなげることができる。

科目の性質上、座学と実習を併用するため、教室での電子黒板の使用にとどまらず、ほ場実習での ICT 機器の活用についても模索していきたい。